

令和6年度 諫早市地域包括ケア推進協議会

諫早市地域包括ケアシステム の取組み状況

令和7年1月15日

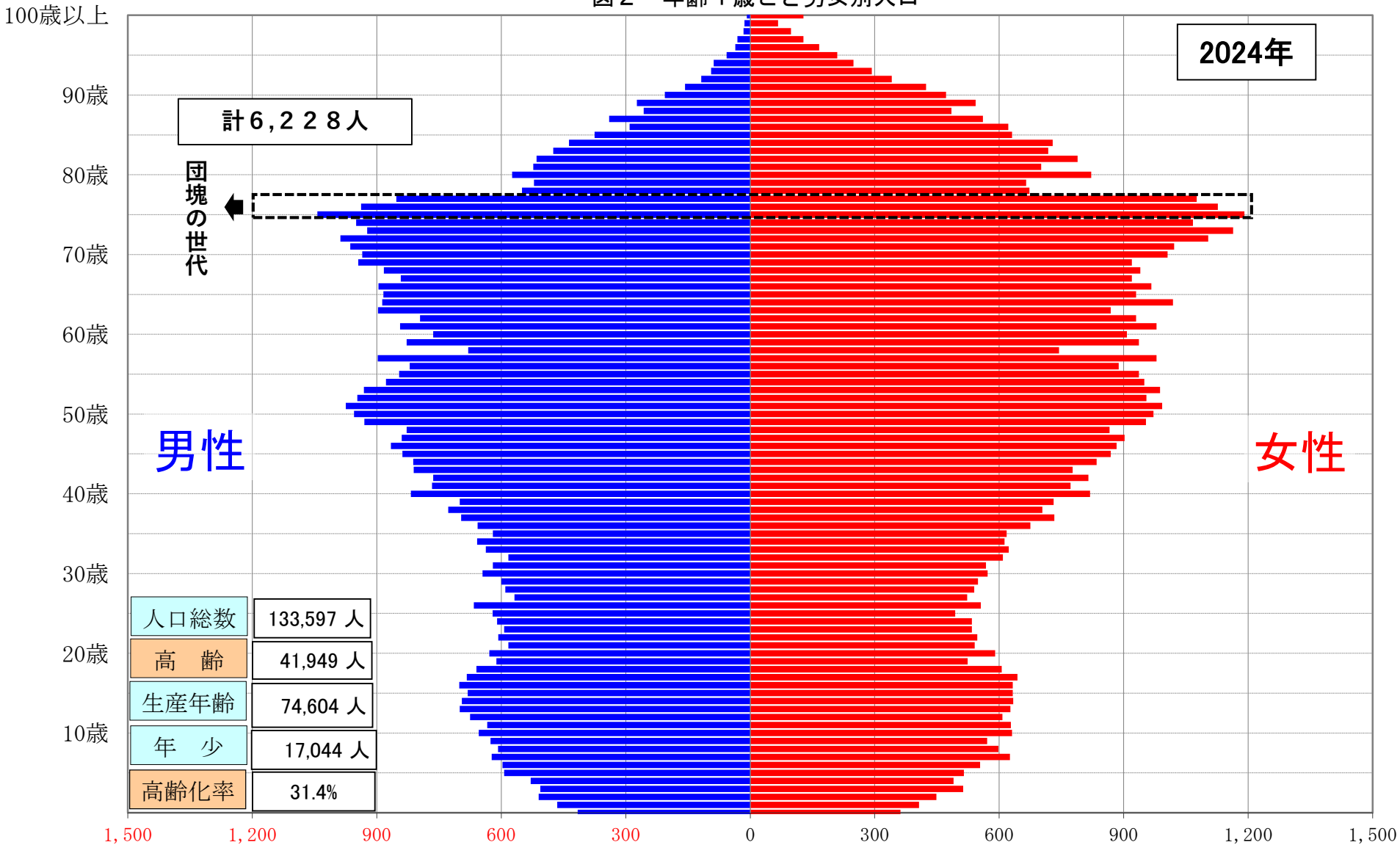
諫早市地域包括ケア推進課

目次

(1) 諫早市の現状	2
(2) 地域包括ケアシステムのイメージと推進体制	5
(3) 在宅医療・介護連携推進事業	7
(4) 認知症対策推進事業	9
(5) 介護予防・日常生活支援推進事業	11
(6) 地域包括ケアシステムの推進状況・今後の課題	13
(7) 意見交換	16
(8) 参考資料	17

人口の年齢構造（諫早市 R6.11.1現在）

図2 年齢1歳ごと男女別人口



本市人口の推移・見込み

(単位：人)

区分		2018年 (平成30年)	2021年 (令和3年)	2024年 (令和6年)	2040年 (令和22年)
総人口		137,409	135,329	129,661	108,568
	15歳未満	18,573	17,993	16,485	11,477
	15～39歳	33,383	31,446	27,957	21,561
	40～64歳	45,711	44,592	42,967	31,882
	65歳以上	39,742	41,298	42,252	43,648
	前期高齢者数(65～74歳)	19,746	20,883	19,193	16,607
	後期高齢者数(75歳以上)	19,996	20,415	23,059	27,041
高齢化率		28.9%	30.5%	32.6%	40.2%

出所：高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画

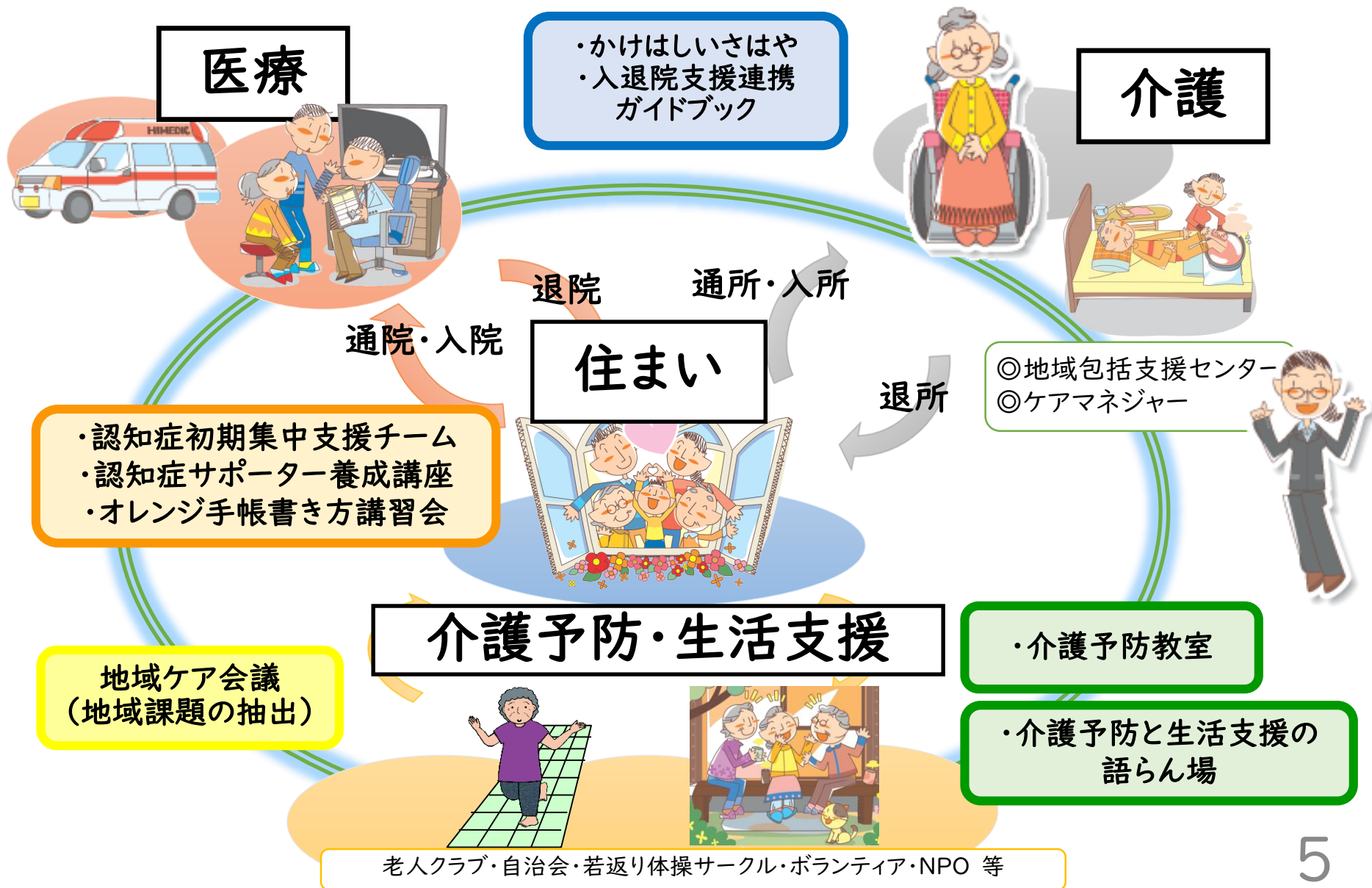
要介護認定者数の状況（諫早市 R6.3月末現在）

年齢階層 (歳)	高齢者人口 (人)	認定者数 (人)	認定率	介護度別内訳 ((B)の内訳)						
				(人)						
	(A)	(B)	(B)/(A)	支援Ⅰ	支援Ⅱ	介護Ⅰ	介護Ⅱ	介護Ⅲ	介護Ⅳ	介護Ⅴ
65-69	9,215	186	2.0%	31	26	40	24	29	20	16
70-74	10,378	496	4.8%	91	72	120	72	59	43	39
75-79	8,299	854	10.3%	165	142	195	107	102	91	52
80-84	6,175	1,504	24.4%	293	266	372	184	159	141	89
85-89	4,412	2,148	48.7%	367	340	553	283	250	232	123
90-	3,346	2,547	76.1%	209	310	554	377	459	428	210
計	41,825	7,735	18.5%	1,156	1,156	1,834	1,047	1,058	955	529
(再掲)										
65-74	19,593	682	3.5%	122	98	160	96	88	63	55
75-	22,232	7,053	31.7%	1,034	1,058	1,674	951	970	892	474
計	41,825	7,735	18.5%	1,156	1,156	1,834	1,047	1,058	955	529

	認定率	出現率						
全国	19.4%	2.8%	2.7%	4.0%	3.2%	2.5%	2.4%	1.6%
長崎県	19.9%	2.4%	2.8%	4.8%	3.2%	2.7%	2.5%	1.4%
市	18.5%	2.8%	2.8%	4.4%	2.5%	2.5%	2.3%	1.3%

(注) 高齢者人口は、R6.4.1現在。

諫早市地域包括ケアシステムのイメージ



諫早市における地域包括ケアの推進体制

諫早市地域包括ケア推進協議会【16名】

(地域包括ケアシステム構築のための有識者や関係機関、関係団体の代表者で構成)



在宅医療・
介護連携推進会議

【14名】

認知症対策
推進会議

【14名】

介護予防・日常
生活支援推進会議

【14名】

(市レベル)

(圏域レベル)

圏域別地域ケア会議 (中央部・北部・西部・南部・東部)

個別地域ケア会議 (中央部・北部・西部・南部・東部)



住民主体の活動組織 (自治会、民生委員等)

地域
ケア
会議

在宅医療・介護連携推進事業の実施一覧

普及啓発

- 市民講演会
- お気軽座談会
- ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の取組

情報共有 相談支援

- 諫早市入退院支援連携ガイドブック
- 諫早市在宅医療・介護連携支援センター
『かけはしいさはや』

研修会

- 在宅医療・介護関係者研修会
- 多職種意見交換会

在宅医療・介護連携推進事業の主な取組み

諫早市在宅医療・介護連携支援センター (かけはしいさはや)

連携

地域包括ケアシステムの一環として、在宅生活の継続に必要な医療と介護サービスの連携を図る為、専門職からの医療・介護連携に係る相談支援を行うことなどにより、在宅生活に必要なサービスを円滑に提供できる体制を構築する。

- 【設置場所】健康福祉センター1階
- 【職員体制】3名体制（事務職及び保健師）
- 【実施方法】諫早医師会への業務委託により実施

諫早市入退院支援連携ガイドブック

情報共有

要介護者が入退院する際の、ケアマネジャーと医療機関の基本的な情報提供の手引き

平成30年 4月 運用開始
令和 2年 4月 改訂
令和 3年12月 改訂



ACP（アドバンス・ケア・プランニング） の取組み

普及啓発

ACP（人生会議）とは

本人の大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて、自分自身で考え、信頼する人たちと繰り返し話し合うこと

人生の最終段階の在り方を
考えてもらうための“きっかけ”



専門職や市民へ広く普及していく



ACP市民講演会

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、市民向け講演会を開催し、ACPの普及啓発を行う。



令和6年10月26日
健康福祉センター
参加者数70名

※「介護の日」と合同開催

認知症対策推進事業の実施一覧

普及啓発

- 認知症講演会
- 認知症サポーター養成講座
- いさはやオレンジ手帳
- 認知症SOS模擬訓練
- いさはやオレンジ2024
(世界アルツハイマー月間)

本人・家族 支援

- 専門相談
- 認知症初期集中支援チーム
- 認知症ケアパス ○いさはやオレンジ手帳
- オレンジ連携シート ○多職種協働研修
- 高齢者見守り(ペンダント・GPS)

本人 発信支援

- 講演会等での認知症ご本人の意見を反映
- いさはやオレンジガイド(簡易版認知症ケアパス)

認知症対策推進事業の主な取り組み

認知症講演会

普及啓発

市民が認知症への正しい知識を持ち、正しく理解できる機会を設けることを目的として開催。

R6年度は「県央圏域介護人材確保対策協議会」と連携し、同会場で認知症に関する無料映画を上映した。



令和6年11月16日開催
会場：長田みのり会館
参加者：100名

いさはやオレンジ2024 (世界アルツハイマー月間)

普及啓発

9月の世界アルツハイマー月間に合わせ、缶バッジの配布や横断幕の設置、市民参加型の写真投稿や図書館でのメッセージ掲示（オレンジの木）などに取り組んだ。

期間：令和6年9月2日～9月30日



認知症SOS模擬訓練

普及啓発

地域での見守り体制を強化し、今後増加することが見込まれる認知症の人の行方不明などに迅速に対応できるよう実施。

R5年度は初めて住民主体で実施した。



令和6年3月30日開催
有喜地区 参加者110名

簡易版認知症ケアパス 「いさはやオレンジガイド」

本人発信支援

本人視点を盛り込んだ簡易版認知症ケアパス。

推進会議の意見を伺いながら、修正などを加え、R4年度完成。

総配付数：36,576部
(令和7年1月6日時点)



介護予防・日常生活支援推進事業の実施一覧

普及啓発

- 介護予防教室
- 短期集中予防サービス
- 介護予防と生活支援の「語らん場」
- 地域づくりフォーラム（パネル展）

活動支援

- 若返り体操サークル
- ふれあいいきいきサロン
- 体力測定及び評価分析
- 地域リハビリテーション活動支援
- アクティブシニア養成講座

住民発信 支援

- 介護予防と生活支援の「語らん場」
- 地域づくりフォーラム（パネル展）

介護予防と日常生活支援推進のための主な取組み

アクティブシニア養成講座

活動支援

地域で「何か始めたい」「何か活動したい」という高齢者に対して地域活動参加に役立つ情報やスキルを伝えることで、地域活動参加のきっかけづくりを行うとともに、高齢者の経験や知恵を地域に生かしていく機会とするための講座

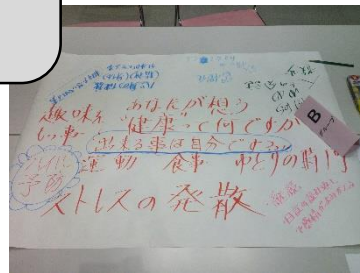
場所：健康福祉センター

参加者：22名

第1回：令和6年5月22日（水）

第2回：令和6年6月18日（火）

第3回：令和6年7月19日（金）



介護予防と生活支援の地域づくりフォーラム

住民発信支援

普及啓発

日時：令和6年12月20日（金）

場所：ながさき看護センター

参加者：140名



パネル展（本庁）



◆第1部 一講演会一

テーマ：地域のお宝探してみませんか？

～日頃のつながり、支え合いは思ってもみないところに！？～

講師：地域支え合い推進プロジェクト

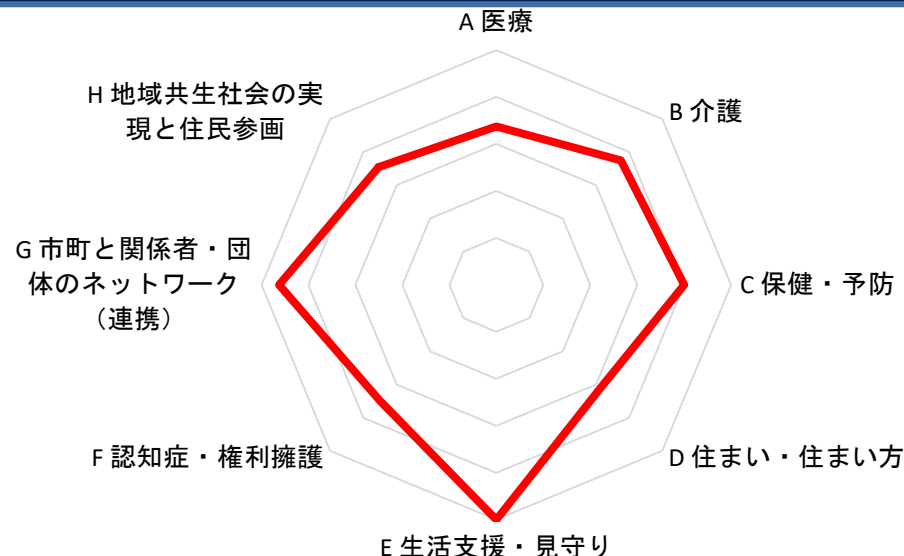
主幹 木村 利浩 氏

◆第2部 一意見交換会一

地域のお宝紹介！

（第2層SCが諫早市の地域のお宝を紹介！！）

レーダーチャート



基本情報(R6.3.31現在)

総人口	133,670人
高齢者数（率）	41,825人（31.29%）
後期高齢者数（率）	22,232人（16.63%）
要介護認定率	13.23%
要支援認定率	5.59%

諫早市の特徴、地域包括ケアシステム推進に向けた主な取り組み

- 「かけはしいさはや(在宅医療・介護連携支援センター)」を中心に、在宅医療やACPIについて地域住民への普及啓発に取り組んでいる。
- 「語らん場(2層協議体)」を通して地域の細かな課題を把握し、通いの場や生活支援の創出などにつながっている。
- サービスC対象者については、サービスCに特化した地域ケア会議を実施することで、専門職の助言等を得ながら、具体的な目標設定を行っている。
- 認知症対策推進事業では、住民主体の認知症SOS模擬訓練、オレンジセーフティネットなどに取り組んでいる。

自己評価シート A～H分野における諫早市としての課題認識

【A 医療】

- ・ACPの認知度、実践率が低く、継続して取り組んでいきたい。
- ・入退院支援について、ガイドブックの内容をアンケート調査結果を踏まえ、整理行い、改訂等につなげていきたい。

【B 介護】

- ・介護人材の確保については、支え手が必要。中長期的なあり方について検討する。
- ・介護サービスの基盤については、9期中に課題整理し、10期に向けて取組んでいきたい。

自己評価シート A～H分野における諫早市としての課題認識

【C 保健・予防】

- ・一体的実施の開始に向けて連携をしていきたい。サービスCのマネジメントをどうするか、サービスCの卒業後、介護予防ができる場をどうするか体制を検討していく。

【D 住まい・住まい方】

- ・評価指標も踏まえ、リハ職が関わった評価を高めていけるようにしたい。

【E 生活支援・見守り】

- ・語らん場の充実を通して、生活支援ニーズの把握を行い、取組みの創設につなげていきたい。

【F 認知症・権利擁護】

- ・住民主体のSOS模擬訓練やオレンジセーフティネットなどを活用するなど普及啓発に取り組んでいきたい。

【G 市町と関係者・団体のネットワーク(連携)】

- ・医療介護の関係者同士の顔の見える関係作りを行い、地域ケア会議を通じて、横断的連携を進めていきたい。

【H 地域共生社会の実現と住民参画】

- ・地域資源を検討しながら、持続可能な体制を検討していく。

諫早市として考える一番の課題認識

- 医療介護連携に関する地域の実態把握に取組む。
- 地域ケア会議でのマネジメント評価
- 自主グループ化支援
- 認知症の効果的な普及啓発
- 関係者・住民との対話をしながら、地域包括ケアシステムの構築を推進していく。

ヒアリングを終えて県が認識した諫早市の課題

- 市事業のさらなる充実のために、地域リハビリテーション広域支援センターや協力機関と連携を深める等、地域密着型リハビリテーション支援体制の活用を図っていく必要がある。
- サービスC卒業後の通いの場等への事業運動など、今後、施策効果をさらに高めるために、介護予防マネジメントの実施等について検討を行っていく必要がある。
- 圏域ごとの評価を踏まえて、圏域の実情に応じた取組を進めることで、市全体の地域包括ケアシステムの充実を図っていく必要がある。

各事業を実施する上で見えてきた共通課題

○在宅医療・介護連携 推進事業

ACP・在宅医療の認知度向上

○認知症対策推進事業

認知症への正しい理解の促進

○介護予防・日常生活支援 推進事業

フレイル予防の必要性の周知・定着化

- ・事業の認知度向上
- ・参加者の固定化解消
- ・無関心層や幅広い世代へのアプローチ

意見交換:

市の普及啓発の現状と今後の各団体との連携について

市の普及啓発の現状（R5～R6実施）

主な取組み	主な周知方法
ACP市民講演会・認知症講演会 地域づくりフォーラム アクティブシニア養成講座	市広報（市報やホームページへの掲載、LINEでの投稿等） チラシ配布、ポスター掲示、関係者及び団体への周知
認知症サポーター養成講座 いさはやオレンジ手帳書き方講習会	市広報、認知症地域支援推進員による地域でのチラシ配布
ACPの日の取組み 世界アルツハイマー月間の取組み	市広報、案内板の設置、パネル展・図書館特設コーナー等を実施
ACP冊子・ いさはやオレンジガイドの配布	市広報、関係者及び団体への周知、医療機関や介護事業所等への送付
認知症SOS模擬訓練	語らん場や地域ケア会議等での周知
介護予防教室	市広報、介護予防ガイドブックへの掲載
短期集中予防サービス（サービスC）	対象者への案内（面談・電話）、介護予防ガイドブックへの掲載
介護予防と生活支援の「語らん場」	市広報、パネル展、関係団体への周知

参考：推進会議委員及び構成団体

(敬称略)

<在宅医療・介護連携推進会議>

委員：松尾 彰	(諫早医師会)
福島 喜代康	(諫早医師会)
河井 洋祐	(諫早市歯科医師会)
工藤 学	(諫早市薬剤師会)
木下 由紀子	(諫早総合病院)
廣田 カツエ	(長崎県訪問看護ステーション連絡協議会)
米倉 康佑	(長崎県医療ソーシャルワーカー協会)
千葉 隆平	(長崎県老人福祉施設協議会 県央ブロック施設代表者会)
道口 誠	(長崎県老人保健施設協会)
徳益 広明	(諫早市グループホーム連絡協議会)
酒井 美紀	(長崎県介護支援専門員協会諫早支部)
下屋敷 元子	(諫早市地域包括支援センター運営法人代表者会議)
野中 伸子	(県央保健所)
東 聖治	(諫早市健康保険部)

※前回会議時点

参考：推進会議委員及び構成団体

(敬称略)

<認知症対策推進会議>

委員：宮田 史朗	(諫早医師会・諫早市認知症専門嘱託医)
宮本 俊吾	(諫早医師会)
納富 拓	(諫早市歯科医師会)
宮崎 彰宣	(諫早市薬剤師会)
近藤 祐子	(長崎県訪問看護ステーション連絡協議会)
大川 由美子	(長崎県作業療法士会)
松田 陽平	(長崎県医療ソーシャルワーカー協会)
原口 学	(諫早市通所サービス事業所連絡協議会)
村上 慎太郎	(諫早市グループホーム連絡協議会)
森 鮎美	(長崎県介護支援専門員協会諫早支部)
市丸 憲二	(諫早市民生委員児童委員協議会連合会)
田島 勝歳	(諫早市老人クラブ連合会)
永尾 久美子	(諫早市連合婦人会)
平山 百合子	(認知症の人と家族の会 長崎県支部 諫早つつじ会)

※前回会議時点

参考：推進会議委員及び構成団体

(敬称略)

<介護予防・日常生活支援推進会議>

委員：小無田 要	(諫早医師会)
奥村 晃	(諫早市歯科医師会)
松尾 雄太	(諫早市薬剤師会)
佐藤 慶美	(長崎県歯科衛生士会諫早支部)
山口 晃樹	(長崎県理学療法士協会)
林田 貴文	(諫早市通所サービス事業所連絡協議会)
森芳 正	(長崎県介護支援専門員協会諫早支部)
安部 正	(諫早市自治会連合会)
原 章	(諫早市社会福祉協議会)
井手 洋一郎	(諫早市地区社協会長会)
立野 政美	(諫早市民生委員児童委員協議会連合会)
田島 勝歳	(諫早市老人クラブ連合会)
竹市 保彦	(諫早市シルバー人材センター)
平山 百合子	(諫早市食生活改善推進協議会)

※前回会議時点



諫早 高齢者 ささえあい

検索

高齢者が住みなれた地域で
安心して暮らせるよう
諫早市が推進している
「地域包括ケアシステム」の
取組状況を紹介するサイトです。

